

2021 年 3 月 21 日

主日礼拝

《礼拝》

礼拝讃美歌⇒13 番（旧 153 番）

『あまねく天地があらわす』

聖書⇒フィリピの信徒への手紙 2:6~8

『キリストは、神の身分でありながら、神と等しい者であることに固執しようとは思わず、かえって自分を無にして、僕の身分になり、人間と同じ者になられました。人間の姿で現れ、へりくだって、死に至るまで、それも十字架の死に至るまで従順でした。』

礼拝讃美歌⇒456 番（旧 200 番）

『カルバリやまの十字架』

聖書⇒エフェソの信徒への手紙 2:3~5、8 節

『わたしたちも皆、こういう者たちの中にいて、以前は肉の欲望の赴くままに生活し、肉や心の欲するままに行動していたのであり、ほかの人々と同じように、生まれながら神の怒りを受けるべき者でした。しかし、憐れみ豊かな神は、わたしたちをこの上なく愛して下さり、その愛によって、罪のために死んでいたわたしたちをキリストと共に生かし、——あなたがたの救われたのは恵みによるのです——事実、あなたがたは、恵みにより、信仰によって救われました。このことは、自らの力によるのではなく、神の賜物です。』

礼拝讃美歌⇒476 番（旧 266 番）

『いかなるめぐみぞ』

《パン裂き》

聖書⇒コリントの信徒への手紙一の 10:16、17 節

『わたしたちが神を賛美する賛美の杯は、キリストの血にあずかることではないか。わたしたちが裂くパンは、キリストの体にあずかることではないか。パンは一つだから、わたしたちは大勢でも一つの体です。皆が一つのパンを分けて食べるからです。』

礼拝讃美歌⇒149 番（旧 220 番）

『しょくたくにまねかれ』

《建徳》

ヨハネによる福音書 19:28~30 節

『この後、イエスは、すべてのことが今や成し遂げられたのを知り、「渴く」と言われた。こうして、聖書の言葉が実現した。そこには、酸いぶどう酒を満たした器が置いてあった。人々は、このぶどう酒をいっぱい含ませた海綿をヒソプに付け、イエスの口もとに差し出した。イエスは、このぶどう酒を受けると、「成し遂げられた」と言い、頭を垂れて息を引き取られた。』

《建徳要旨》

ヨハネ 19 章 28～30 節：イエスは、このぶどう酒を受けると、「成し遂げられた」と言い、頭を垂れて息を引き取られた。これは十字架上の 7 つの言葉の 6 番目です。主は「成し遂げられた」と言われました。何を成し遂げられたのでしょうか。そのことを十字架上の 7 つの言葉から読み解きます。

- ① 父よ、彼らをお赦してください。自分が何をしているのか知らないのです」（ルカ 23:34）赦せない者を赦す愛です。
- ② はっきり言うておくが、あなたは今日わたしと一緒に楽園にいる。と言われた（ルカ 23:43）。救われる資格もないと言う犯罪人にも、救いと御国を約束された。
- ③ に、「婦人よ、御覧なさい。あなたの子です」と言われた（ヨハネ 19 章 26, 27 節）。母を弟子のヨハネに託します。
- ④ エリ、エリ、レマ、サバクタニ」これは、「わが神、わが神、どうして私をお見捨てになったのですか」という意味である。（マタイ 27:46）。私たちの身代わりとして父神から見捨てられたのは、私たちが決して見捨てられない確証です。
- ⑤ 「渇く」と言われた（ヨハネ 19 章 28 節）。もっと救いたい。
- ⑥ 頭聖句。完了した、終わった→成し遂げられた。私たちへの宣言であり、父神への報告。罪の赦しを宣言し、どんな罪人をも救うために、身代わりとなって父神から捨てられたイエス様。主を信じる者は絶対に見捨てられない保証。
- ⑦ 父よ、わたしの霊を御手に委ねます」委ねて死なれた。

人間（アダム）の犯した不従順の罪、悪魔の誘惑に負けた罪を償うために、主イエスは死に至るまで、それも十字架の死に至るまで従順を貫かれた（フィリピ 2:6～8）。それによって救いが成し遂げられました。だから、私たちのなすべきことは、主イエスを救い主と信じること。信じて主イエスと一つにされ、主の命（永遠の命）と聖霊をいただくこと。主イエスは、「あなたがたには世で苦難がある。しかし、勇気を出しなさい。わたしは既に世に勝っている」（ヨハネ 16 章 33 節）と言われた。私たちは信じることによって、主イエスと一つとされ、主の勝利が自分の勝利となるのです。（K・H）